



平成27年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年8月12日

上場会社名 オンコロスバイオファーマ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4588 URL http://www.oncolys.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浦田 泰生
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理担当 (氏名) 六反田 靖 TEL 03 (5472) 1578
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第2四半期の業績（平成27年1月1日～平成27年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|-----|------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年12月期第2四半期 | 7 | 88.2 | △505 | — | △405 | — | △406 | — |
| 26年12月期第2四半期 | 4 | — | △358 | — | △277 | — | △286 | — |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|--------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年12月期第2四半期 | △44.26 | — |
| 26年12月期第2四半期 | △31.28 | — |

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 27年12月期第2四半期 | 4,461 | 3,960 | 88.7 | 431.25 |
| 26年12月期 | 5,008 | 4,371 | 87.2 | 476.03 |

(参考) 自己資本 27年12月期第2四半期 3,956百万円 26年12月期 4,367百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年12月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 27年12月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 27年12月期（予想） | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年12月期の業績予想（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-----|-------|--------|---|--------|---|--------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 105 | 275.0 | △1,602 | — | △1,509 | — | △1,512 | — | △164.80 |

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-----------|------------|-----------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 27年12月期2Q | 9,183,600株 | 26年12月期 | 9,183,200株 |
| ② 期末自己株式数 | 27年12月期2Q | －株 | 26年12月期 | －株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 27年12月期2Q | 9,183,534株 | 26年12月期2Q | 9,165,407株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

また、平成27年8月14日にアナリスト向け決算説明会を予定しており、当日使用した資料は、開催後に当社HPへの掲載を行う予定です。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 6 |
| 第2四半期累計期間 | 6 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |
| 4. 補足情報 | 9 |
| (1) 研究開発活動 | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(平成27年1月1日～平成27年6月30日)におけるわが国経済は、企業収益や雇用・生活状況などに改善傾向が見られるなど、緩やかな回復基調が続いています。しかしながら、欧州や中国など海外景気の下振れ懸念や、原油価格下落の影響により、先行きの不透明な状況が予想されています。

このような状況下、当社は経営の効率化を図り、積極的な研究・開発・ライセンス活動を展開いたしました。

医薬品事業では、腫瘍殺傷ウイルスのOBP-301(テロメライシン®)及び新規エピジェネティックがん治療薬OBP-801、新規抗HIV剤OBP-601(センサブジン)を中心に研究・開発・ライセンス活動を推進させました。また、検査薬事業では、OBP-1101(テロメスキャンF35)を中心に研究・開発・受託検査・ウイルス販売・ライセンス活動を推進させました。

活動の詳細は、「4. 補足情報(1) 研究開発活動」に記載しております。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高7,909千円(前年同四半期は4,203千円)、営業損失505,374千円(前年同四半期は営業損失358,291千円)となりました。また、営業外収益として、NEDO(新エネルギー・産業技術総合開発機構)やJST(科学技術振興機構)等からの助成金収入89,065千円及びMedigen Biotechnology Corp.(本社:台湾)からの受取研究開発負担金10,190千円等を計上し、営業外費用として支払利息2,336千円を計上した結果、経常損失405,259千円(前年同四半期は経常損失277,047千円)、四半期純損失406,496千円(前年同四半期は四半期純損失286,665千円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 医薬品事業

医薬品事業におきましては、積極的な研究・開発・ライセンス活動を展開いたしましたが当第2四半期累計期間において計上すべき売上はありませんでした。

この結果、売上高なし(前年同四半期は売上高なし)、営業損失222,493千円(前年同四半期は営業損失98,973千円)となりました。

② 検査薬事業

検査薬事業におきましては、血中浮遊癌細胞(CTC)検査薬として開発を進めていますOBP-1101(テロメスキャンF35)を用いた研究用CTC受託検査を継続して実施しています。また、Deciphera Pharmaceuticals, LLC(本社:米国。以下Deciphera社)へのOBP-401(テロメスキャン)及びOBP-1101(テロメスキャンF35)の販売を行いました。

この結果、売上高7,909千円(前年同四半期は売上高4,203千円)、営業損失75,358千円(前年同四半期は営業損失77,572千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における資産は、現金及び預金の減少及び固定資産の増加等により4,461,547千円(前事業年度末比89.1%)となりました。負債は、短期借入金・未払金の減少等により501,126千円(前事業年度末比78.6%)となりました。純資産は、四半期純損失等の理由により3,960,421千円(前事業年度末比90.6%)となりました。

キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、前事業年度の1,182,466千円から2,658,888千円へと1,476,422千円増加しました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは419,486千円(前年同期比28.6%増)の支出となりました。これは主として、税引前四半期純損失405,259千円、前払金の増加23,547千円、未払金の減少25,517千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは2,000,157千円(前年同期は3,399,976千円の支出)の収入となりました。これは主として、定期預金の払戻2,000,000千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは104,283千円(前年同期比57.2%増)の支出となりました。これは主として、短期借入金の純減額80,000千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月12日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成26年12月31日) | 当第2四半期会計期間 (平成27年6月30日) |
|---------------|------------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,727,483 | 4,203,905 |
| 売掛金 | 6,592 | 3,568 |
| 製品 | 14,227 | 14,185 |
| 仕掛品 | 2,174 | — |
| 貯蔵品 | 2,380 | 2,212 |
| 前払金 | 67,021 | 90,569 |
| 前払費用 | 10,858 | 23,854 |
| 未収入金 | 24,468 | 511 |
| 未収消費税等 | 29,280 | 11,775 |
| その他 | 244 | 344 |
| 流動資産合計 | 4,884,731 | 4,350,928 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 13,355 | 13,355 |
| 減価償却累計額 | △341 | △1,036 |
| 建物(純額) | 13,013 | 12,319 |
| 工具、器具及び備品 | 100,393 | 103,560 |
| 減価償却累計額 | △54,544 | △61,679 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 45,849 | 41,881 |
| 有形固定資産合計 | 58,863 | 54,200 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 853 | 4,754 |
| 無形固定資産合計 | 853 | 4,754 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 24,940 | 17,259 |
| 出資金 | 100 | 100 |
| 敷金及び保証金 | 36,956 | 32,166 |
| 長期前払費用 | 2,298 | 2,119 |
| その他 | 18 | 19 |
| 投資その他の資産合計 | 64,313 | 51,664 |
| 固定資産合計 | 124,029 | 110,619 |
| 資産合計 | 5,008,761 | 4,461,547 |

(単位:千円)

| | 前事業年度 (平成26年12月31日) | 当第2四半期会計期間 (平成27年6月30日) |
|--------------|------------------------|----------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 短期借入金 | 173,336 | 93,336 |
| リース債務 | 9,708 | 10,410 |
| 未払金 | 40,826 | 15,497 |
| 未払費用 | 18,576 | 14,873 |
| 未払法人税等 | 12,136 | 11,893 |
| 前受金 | 5,029 | 561 |
| 預り金 | 3,258 | 4,175 |
| 流動負債合計 | 262,871 | 150,748 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 336,522 | 317,076 |
| リース債務 | 29,229 | 27,029 |
| 退職給付引当金 | 2,700 | 3,352 |
| 繰延税金負債 | 5,954 | 2,919 |
| 固定負債合計 | 374,405 | 350,377 |
| 負債合計 | 637,277 | 501,126 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,072,278 | 5,072,318 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | 5,064,778 | 5,064,818 |
| 資本剰余金合計 | 5,064,778 | 5,064,818 |
| 利益剰余金 | | |
| その他利益剰余金 | | |
| 繰越利益剰余金 | △5,780,624 | △6,187,121 |
| 利益剰余金合計 | △5,780,624 | △6,187,121 |
| 株主資本合計 | 4,356,431 | 3,950,014 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 10,753 | 6,107 |
| 評価・換算差額等合計 | 10,753 | 6,107 |
| 新株予約権 | 4,300 | 4,300 |
| 純資産合計 | 4,371,484 | 3,960,421 |
| 負債純資産合計 | 5,008,761 | 4,461,547 |

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 4,203 | 7,909 |
| 売上原価 | 44 | 16 |
| 売上総利益 | 4,158 | 7,893 |
| 販売費及び一般管理費 | 362,449 | 513,267 |
| 営業損失(△) | △358,291 | △505,374 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 482 | 2,849 |
| 受取配当金 | 6 | 4 |
| 助成金収入 | 51,069 | 89,065 |
| 受取研究開発負担金 | 36,485 | 10,190 |
| 為替差益 | — | 216 |
| その他 | 36 | 126 |
| 営業外収益合計 | 88,080 | 102,452 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2,324 | 2,336 |
| 為替差損 | 4,020 | — |
| その他 | 491 | — |
| 営業外費用合計 | 6,836 | 2,336 |
| 経常損失(△) | △277,047 | △405,259 |
| 特別損失 | | |
| 本社移転費用 | 8,338 | — |
| 特別損失合計 | 8,338 | — |
| 税引前四半期純損失(△) | △285,386 | △405,259 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,349 | 1,237 |
| 法人税等調整額 | △70 | — |
| 法人税等合計 | 1,279 | 1,237 |
| 四半期純損失(△) | △286,665 | △406,496 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純損失(△) | △285,386 | △405,259 |
| 減価償却費 | 5,944 | 8,102 |
| 本社移転費用 | 1,989 | — |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 165 | 652 |
| 受取利息及び受取配当金 | △488 | △2,853 |
| 支払利息 | 2,324 | 2,336 |
| 株式交付費 | 468 | — |
| 為替差損益(△は益) | 4,101 | △35 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 24 | 3,023 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △1,302 | 2,384 |
| 未収入金の増減額(△は増加) | △15,038 | 23,957 |
| 前払金の増減額(△は増加) | △57,689 | △23,547 |
| 未払金の増減額(△は減少) | 32,982 | △25,517 |
| その他 | △9,812 | △863 |
| 小計 | △321,719 | △417,619 |
| 利息及び配当金の受取額 | 488 | 2,853 |
| 利息の支払額 | △2,521 | △2,232 |
| 法人税等の支払額 | △2,555 | △2,487 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △326,307 | △419,486 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △3,370,000 | — |
| 定期預金の払戻による収入 | — | 2,000,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,699 | — |
| 無形固定資産の取得による支出 | — | △4,175 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △25,410 | △961 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | — | 5,293 |
| その他 | △2,865 | — |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △3,399,976 | 2,000,157 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | △73,000 | △80,000 |
| 長期借入れによる収入 | 35,000 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | △16,252 | △19,446 |
| リース債務の返済による支出 | △2,613 | △4,917 |
| 株式の発行による収入 | 5,660 | 80 |
| 株式の発行による支出 | △15,124 | — |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △66,329 | △104,283 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △4,101 | 35 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △3,796,714 | 1,476,422 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 5,404,610 | 1,182,466 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,607,896 | 2,658,888 |

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自平成26年1月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注)1 | 四半期損益 計算書計上額 (注)2 |
|-------------------|---------|---------|----------|-------------|-------------------------|
| | 医薬品事業 | 検査薬事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | — | 4,203 | 4,203 | — | 4,203 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | — | 4,203 | 4,203 | — | 4,203 |
| セグメント損失(△) | △98,973 | △77,572 | △176,545 | △181,745 | △358,291 |

(注)1. セグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る経費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自平成27年1月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注)1 | 四半期損益 計算書計上額 (注)2 |
|-------------------|----------|---------|----------|-------------|-------------------------|
| | 医薬品事業 | 検査薬事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | — | 7,909 | 7,909 | — | 7,909 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | — | 7,909 | 7,909 | — | 7,909 |
| セグメント損失(△) | △222,493 | △75,358 | △297,852 | △207,522 | △505,374 |

(注)1. セグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る経費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 研究開発活動

当第2四半期累計期間における研究開発費は、医薬品事業185,053千円、検査薬事業63,919千円、両セグメント共通7,925千円、合計256,898千円であります。

なお、当第2四半期累計期間において、当社の研究開発活動の状況は以下の通りです。

1) 研究開発体制について

平成27年6月30日現在、研究開発部門は15名在籍し、これは総従業員数の48.4%に当たります。

2) 研究開発活動について

当社は、以下のプロジェクトを中心に研究開発を進めました。

①医薬品事業

腫瘍溶解ウイルスのOBP-301(テロメライシン®)につきまして、平成20年3月にMedigen Biotechnology Corp.(本社:台湾。以下、Medigen社)との間で締結いたしました戦略的アライアンス契約に基づく当社とMedigen社によるアジア圏での肝臓がんを対象としたPhase I/II臨床試験は、第一群の投薬が完了し、第二群への投薬を開始しています。また、国内においては、平成25年12月から岡山大学による食道がんを対象とした医師主導の臨床研究が進んでいます。同大学は本臨床研究における成果を、米国癌学会(AACR)を初め積極的に学会発表しています。これらの活動を背景にライセンス活動を促進しております。

平成21年10月にアステラス製薬株式会社より導入いたしました新規エピジェネティックがん治療薬OBP-801につきまして、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)のイノベーション実用化ベンチャー支援事業の助成を活用して、平成26年12月に米国医薬食品医薬品局(FDA)からPhase I臨床試験の開始が承認されました。この結果、当第2四半期累計期間において、Karmanos Cancer Center(米国ミシガン州デトロイト)を治験施設として、他の治療法に抵抗性を示す進行性の固形がん患者を対象として、Phase I臨床試験の症例組入れが開始されました。

新規抗HIV剤OBP-601につきまして、終了しましたPhase II b臨床試験結果から本剤の有効性及び安全性が確認されたことを受け、Phase III臨床試験の実施方針につき、アメリカ食品医薬品局(FDA: Food and Drug Administration)との打ち合わせを開始するとともに、引き続き新たな提携パートナーの獲得に向けた交渉を積極的に進めています。

医薬品事業における主なパイプラインは以下の通りです。

| 開発コード | 商標又は名称 | 適応疾患 | 開発地域 | 開発ステージ |
|---------|--------------------|--------|-------|----------------|
| OBP-301 | テロメライシン®(腫瘍溶解ウイルス) | 肝臓がん | 台湾・韓国 | Phase I/II |
| | | | 米国 | Phase I(終了) |
| | | 食道がん | 日本 | 臨床研究 |
| OBP-601 | センサブジン(HIV感染症治療薬) | HIV感染症 | グローバル | Phase II b(終了) |
| OBP-801 | エピジェネティックがん治療薬 | 腎臓がん他 | 米国 | Phase I |

②検査薬事業

OBP-1101(テロメスキャンF35)を用いた血中循環がん細胞(CTC)検査として、各種がん患者を対象とした臨床研究を進めるとともに、全国のクリニックを対象に自由診療の範囲での受託検査を行っています。さらに、医療機関および製薬企業への検査用ウイルス販売も推進しています。

また、平成26年12月にWONIK CUBE Corp.(本社:韓国)と締結した韓国におけるライセンス契約に基づき、同社への技術移転を進めるとともに、さらにライセンス先を拡大する活動を積極的に進めています。

さらに、Deciphera社が実施する新規分子標的抗がん剤の臨床試験もにおいて、副次的な有効性評価項目の一つとしてCTC検査を用いるため、当社のOBP-401(テロメスキャン®)及びOBP-1101(テロメスキャンF35)技術の活用検討を行っています。このことを受け、当社は、同社にテロメスキャン及びテロメスキャンF35の販売を開始しています。